

栃木県わがまちつながり構築事業計画(実績)書(市町総括表)
【**単独**・連携事業】

市町名	栃木市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	とちぎ秋まつり	総事業費			5,618,000	28,660,000	1,600,000	35,878,000
		うち市町支出額			2,000,000	17,000,000	0	19,000,000
		うち県交付金			1,000,000	2,000,000	0	3,000,000
2	高校生社会参画促進事業	総事業費	101,646	126,218	120,000	120,000	120,000	587,864
		うち市町支出額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000
		うち県交付金	50,000	50,000	50,000			150,000
3	歌麿を活かしたまちづくり事業	総事業費			3,348,000	4,000,000	4,000,000	11,348,000
		うち市町支出額			900,000	1,800,000	1,800,000	4,500,000
		うち県交付金			450,000	900,000	900,000	2,250,000
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	101,646	126,218	9,086,000	32,780,000	5,720,000	47,813,864
		うち市町支出額	100,000	100,000	3,000,000	18,900,000	1,900,000	24,000,000
		うち県交付金	50,000	50,000	1,500,000	2,900,000	900,000	5,400,000

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	栃木市
事業名	とちぎ秋まつり
事業主体の名称	令和6年とちぎ秋まつり実行委員会
代表者の名称	実行委員長 長島 篤
事業主体の所在	栃木市万町9-25 栃木市産業振興部観光振興課内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:江戸型人形山車や獅子頭を巡行する『とちぎ秋まつり』を開催し、その優美さや荘厳さを、市民をはじめ、全国から訪れる多くの皆様楽しんでいただくとともに、歴史と文化に育まれた「栃木市」を広く紹介することにより、活力あるまちづくりに貢献する。</p> <p>・設立年月日:令和5年5月10日</p> <p>・構成員等:(1)まつり参加町内会 (2)栃木市 (3)栃木商工会議所 (4)一般社団法人栃木市観光協会 (5)栃木市商店会連合会 (6)とちぎの山車祭り伝承会 (7)まつり協賛行事参加団体 (8)その他関係機関・協力団体等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・とちぎ秋まつりは、栃木市の蔵の街大通りを会場に、6台が県の指定文化財に、3台と1対が市の指定文化財に指定されている山車等を所有する10町内会を中心に栃木地域を代表するイベントとして、隔年で開催されている(前回は令和4年に実施)。</p> <p>・とちぎ秋まつりは、栃木市を代表するとともに、市民一体感の醸成につながるイベントにする必要がある。</p> <p>・また、山車所有町内会の中には世帯数が減少し、山車まつりの伝承が危ぶまれる町内会もあるなど、後継者不足が課題となっており、町内以外の地域からの協力を得ることが課題となっている。</p>
事業目的	江戸型人形山車や獅子頭を巡行するとちぎ秋まつりを開催し、その優雅さや荘厳さを、市民をはじめ、全国から訪れる多くの皆様楽しんでいただくとともに、歴史と文化に育まれた「栃木市」を広く紹介することにより、活力あるまちづくりに貢献すること。
事業概要	<p>【関係人口の分類: I-d】</p> <p>【令和5年度】</p> <p>・とちぎ秋まつりは、栃木県と宇都宮県が合併して現在の栃木県が誕生した翌年、明治7年(1874)に栃木県庁構内で行われた神武祭を起源としていることから、栃木県誕生150年祭(6月10開催)において、秋まつりを市内外にPRするとともに、ボランティアや山車の担い手の確保につなげ、栃木市ファン、また関係人口の創出を図る。</p> <p>・メイン会場のうち、栃木市立美術館・文学館ひろばにおいては、道路を交通規制して山車9台と獅子頭1対を展示しお囃子の演奏を行う。また、栃木市立栃木中央小学校においては、熱気球係留飛行体験や熱気球教室を開催し、併せて秋まつりのチラシ配布等PRを行う。</p> <p>・市内各所のサブ会場においては、私有施設や空き店舗等を活用して県誕生150年に関するパネル展示や動画上映、市長と市政策フェローによる意見交換等を実施し、併せて秋まつりのチラシ配布等PRを行う。</p> <p>【令和6年度】</p> <p>・蔵の街大通りを中心として、山車の巡行、ぶっつけ、お囃子、小学生参加による「こども山車まつり」、お神楽等の伝統芸能の発表等を行い、ボランティアや山車の担い手の確保につなげ、栃木市ファン、また関係人口の創出を図る。</p> <p>・令和5年度の県誕生150年祭において作成したパネル等を展示し、県や市の歴史に触れながら、秋まつりを楽しんでいた。</p> <p>・とちぎ秋まつりが山車所有町内のみならず、町内以外の市民の参加・協力も促し、栃木市の一大イベントとして継承できるように取り組む。</p> <p>【令和7年度】</p> <p>・令和8年度開催に向けて、秋まつりのチラシ・ポスターを作成・配布する等、次年度の開催に向けて準備、広報等を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】「本市への新しい人の流れをつくる」</p> <p>【具体的施策】交流人口の増加/観光資源の魅力向上と有効活用</p> <p>【KPI】観光施設等観光客年間入込数 R2:250万人→R6:356万人【R4実績336万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

事業内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
	<p>●栃木県誕生150年祭への出展</p> <p>①山車の展示、お囃子演奏</p> <p>②熱気球係留飛行体験・熱気球教室</p> <p>③パネル展示と動画の上映</p> <p>④市長と政策フェロー意見交換</p> <p>⑤アコースティックコンサート</p> <p>⑥着付け</p> <p>⑦鉛筆づくり等体験イベント</p> <p>⑧いちごの染め物体験</p> <p>⑨中学生吹奏楽演奏</p> <p>⑩クイズラリー</p> <p>⑪PRチラシ配布</p>	<p>●令和6年とちぎ秋まつり</p> <p>①山車の巡行、ぶっつけ</p> <p>②市内各地域の小学生による「こども山車まつり」</p> <p>③市内各地域のお囃子、お神楽等の伝統芸能の発表</p> <p>④一般参加者の募集</p>	<p>●令和8年とちぎ秋まつりの企画、準備等</p> <p>①前年度の反省を踏まえ、次年度開催に向けて開催方法を検討</p> <p>②PRチラシ・ポスターの作成・配布</p>	<p>●令和8年とちぎ秋まつり</p> <p>①山車の巡行、ぶっつけ</p> <p>②市内各地域の小学生による「こども山車まつり」</p> <p>③市内各地域のお囃子、お神楽等の伝統芸能の発表</p> <p>④一般参加者の募集</p>	
事業費	5,618,000	28,660,000	1,600,000	35,878,000	28,000,000
市町支支出金(ソフト事業分)	2,000,000	17,000,000	0	19,000,000	17,000,000
うち県交付金	1,000,000	2,000,000	0	3,000,000	
市町支支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,618,000	11,660,000	1,600,000	16,878,000	11,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業振興部観光振興課ふるコムセッション・イベント係
担当者名	福田
電話	0282-21-2851
FAX	0282-21-2683
E-mail	kankou02@city.tochigi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	栃木市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	とちぎ秋まつり	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市町村負担金	2,000,000	市負担金
負担金	1,000,000	とちぎ秋まつり実行委員会、渡良瀬バルーンレース実行委員会、栃木市観光協会、 栃木商工会議所
雑入	126	預金利息等
繰越金	2,617,874	令和4年とちぎ秋まつりからの繰越金
計	5,618,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	1,700,000	1,500,000	750,000	200,000	山車・獅子頭展示謝礼 熱気球係留飛行体験等謝礼 等
旅費	150,000	0	0	150,000	視察研修
消耗品	305,000	200,000	100,000	105,000	看板作成等
印刷製本費	920,000	170,000	85,000	750,000	ポスター、チラシ作成
委託料	595,000	65,000	32,500	530,000	着付け業務委託 配信業務委託 等
保険料	180,000	65,000	32,500	115,000	イベント保険料
予備費	1,768,000			1,768,000	令和6年とちぎ秋まつり開催準備資金
計	5,618,000	2,000,000	1,000,000	3,618,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	栃木市
事業名	高校生社会参画促進事業
事業主体の名称	とちぎ高校生蔵部
代表者の名称	壺谷 悠樹
事業主体の所在	〒328-8686 栃木県栃木市万町9-25 栃木市教育委員会事務局生涯学習課内
事業主体の概要	<p>・団体の目的: ボランティアやまちづくりに関心のある高校生が気軽に集い、同世代の仲間だけでなく大人とも語り合いながら、高校生の視点による自主的な活動を展開し、栃木市の賑わいの創出に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 平成26年4月1日</p> <p>・構成員等: 栃木市内に居住する高校生及び市内の高等学校に在学する高校生並びにとちぎ高校生蔵部の目的に賛同する高校生</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・市内の高等学校に通学する生徒が中心となり、「とちぎ高校生蔵部」を立ち上げ、まちなかでのイベントに参画している。栃木市中心部においても高齢化が進捗し、イベント等での担い手が不足していることから、高校生の視点による事業を展開し、中心市街地の活性化を図る必要がある。</p> <p>・「とちぎ高校生蔵部」の取り組みにより、高校生の地域づくり活動への関心が高まってきている一方で、地域のイベント等での担い手要請は後を絶たない状況である。そのようなことから、まずは高校生が街なかの魅力に触れる機会を創出し、イベントに参加した高校生が栃木市の魅力に触発され、将来の地域の担い手として活動してもらえる環境整備が必要である。</p> <p>・マップづくりや街歩きイベントを行った結果、高校生の栃木市の歴史や伝統工芸品等の認知度が低いことから、認知度を高める取り組みを行うことが必要である。</p>
事業目的	高校生の視点による栃木市の魅力発信と街なかの賑わい創出
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>①地元商店等の協力を得ながら、高校生がお勧めする「栃木ガイドマップ スイーツ編(日本語版)」を作成し、栃木市の魅力を観光客や市内に通学する高校生に発信する。</p> <p>②マップを活用した若者及び栃木市来訪者向けの街歩きイベントを開催する。</p> <p>③栃木市伝統文化体験事業(しもつかれづくり)を開催する。</p> <p>④市内の清掃活動を行い、まちなかの環境美化を図る。</p> <p>⑤市内の高校と連携し、各校の魅力発信や若者の交流を図るため、高校生合同文化祭を開催する。</p> <p>⑥継続的に活動を行うため、部員募集チラシを作成し市内各高校に配布し宣伝する。</p> <p>【令和5年度実施事業の特徴】</p> <p>①マップづくりは、学割を実施する店舗数を増やす取り組みを併せて行い、マップを見た若者が栃木市に訪れ、街なかの若者交流人口を増やす取り組み。</p> <p>②街歩きイベントは、作成する散策マップを活用し、若者視点での市内のPRを図る。</p> <p>③栃木県の郷土食である「しもつかれ」づくり体験をとおし、地元の食文化と伝統食への理解と関心を深める。</p> <p>【事業のPR方法】</p> <p>SNS(twitter, facebook)を活用し、市内外から通学する高校生及び大学生等をターゲットに情報発信を行い、栃木市への関心を高めてもらう。</p> <p>【翌年度以降の取組み】</p> <p>とちぎ高校生蔵部で活動するメンバーの加入促進に取組み、翌年度以降についても上記事業を拡充し、市外からの若者の来訪者及び市内に在住する若者のまちなか交流人口の新たな流れを構築する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】「本市への新しい人の流れをつくる」</p> <p>【具体的施策】交流人口の増加/観光資源の魅力向上と有効活用</p> <p>【KPI】観光施設等観光客年間入込数 H30: 250万人 → R6: 356万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	事業費			支援期間の事業費計	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
①「栃木の街散策マップ vol.6」作成 ②「ホウキモロコシの種まきの実施」 ③「栃木市伝統文化体験事業(箸づくり)」開催 ④清掃活動の実施 ⑤部員募集チラシの作成	101,646	126,218	120,000	347,864	70,000
①「栃木の街散策マップ vol.7」作成 ②「高校生イチオシ! 蔵の街魅力ツアー」開催 ③「ホウキモロコシの栽培、栃木市伝統文化体験事業(しもつかれづくり、箸づくり)」開催 ④清掃活動の実施 ⑤部員募集チラシの作成	100,000	100,000	100,000	300,000	50,000
①「栃木ガイドマップ スイーツ編」作成 ②「高校生イチオシ! 蔵の街魅力ツアー」開催 ③「栃木市伝統文化体験事業(しもつかれづくり)」開催 ④清掃活動の実施 ⑤合同文化祭開催 ⑥部員募集チラシの作成	50,000	50,000	50,000	150,000	
市町支出金(ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	50,000
うち県交付金	50,000	50,000	50,000	150,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,646	26,218	20,000	47,864	20,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	教育委員会事務局 生涯学習課 青少年係
担当者名	中村 久子
電話	0282-21-2489
FAX	0282-21-2690
E-mail	gakusyu05@city.tochigi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	栃木市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高校生社会参画促進事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	100,000	
自主財源	20,000	とちぎ高校生蔵部イベント収益金(既存財源)
計	120,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	50,000	50,000	25,000	0	栃木ガイドマップ、部員募集チラシ制作デザイナー謝金 しもつかれづくり講師謝金
消耗品費	10,000	5,000	2,500	5,000	体験事業用消耗品
印刷製本費	50,000	40,000	20,000	10,000	栃木ガイドマップ、部員募集チラシ印刷代
使用料	10,000	5,000	2,500	5,000	体験事業会場使用料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	120,000	100,000	50,000	20,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査書)
【単独事業】

市町名

栃木市

事業名

歌麿を活かしたまちづくり事業

事業主体の名称

歌麿を活かしたまちづくり協議会

代表者の名称

会長 大木 洋

事業主体の所在

栃木県栃木市万町9番25号

事業主体の概要

・団体の目的:喜多川歌麿の業績をたたえとともに、栃木市の関わりを市内外に発信し、ゆかりの地として、歌麿の作品や足跡を活かしたまちづくりを行い、「まちなか」の賑わいを創出することを目的とする。
・設立年月日:平成28年5月24日
・構成員等:小江戸とちぎ会、栃木市商店会連合会、栃木の例幣使街道を考える会、その他文化団体等(役員は各団体等代表者24名により構成)

当該事業に係る地域の現状と課題

栃木市では、江戸時代の浮世絵師 喜多川歌麿の肉筆画3点(「女達磨図」「鐘撞図」「三福神の相撲図」)を所蔵している。平成23年にとちぎ蔵の街美術館で3点揃っての公開に合わせて、市民団体等が主体となり「歌麿まつり」を開催したことをきっかけとして、翌24年に「歌麿まつり実行委員会」を発足。毎年10月もしくは11月にまつりを開催するにあたり、実行委員会を組織し、会議を重ねながら企画内容を決定、開催してきた。しかし、まつり期間だけの活動であるため、歌麿と栃木市の関わりを市内外に十分に周知すること、「まちなか」の賑わいを創出し、まちづくりにつなげることが難しいことから、実行委員会の関係団体が、平成28年度「歌麿を活かしたまちづくり協議会」を設立した。これにより、「歌麿まつり」はもろろんのこと、まつり期間外にも歌麿に関する講演会の開催や、研修部会が企画する勉強会を行う等、年間を通じて活動することで、歌麿に関する周知や学習の機会を増やしてきた。途中、令和元年度に台風19号による大雨被害、令和2年度から3年度に新型コロナウイルス感染症により活動中止を余儀なくされた時期があったが、令和4年度には、「歌麿道中」や歌麿に関する講演会を規模を縮小しながらではあるが開催することができた。活動を通じての課題は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「歌麿まつり」を含めた様々な事業が中止・規模を大幅に縮小しての開催になったことによる周知・学習機会の減少や、会員の高齢化が進み、今後の事業の継続が困難なことが予想されるため、イベント等を通じて歌麿に興味のある会員を確保することである。

事業目的

歌麿ゆかりの地として、歌麿の作品や足跡を活かしたイベントを開催し、「まちなか」の賑わいを創出することにより歌麿と栃木市の関わりを市内外に発信することで観光客を入れ込むと共に、イベント等を通じて既存会員の知識を深めること、歌麿に興味のある会員を確保することで活動を継続し、まちづくりに繋げていくことを目的とする。

事業概要

【令和5年度】[I-d]
①栃木県誕生150周年記念歌麿まつり(「歌麿道中」や「歌麿夢芝居」、その他協議会構成団体による関連イベント)の開催
開催期間:令和5年11月11日(土)~26日(日)の16日間
開催場所:蔵の街とちぎ(蔵の街大通りを中心とした街中周辺)
内容:(1)歌麿道中 11月11日(土)【予備日:11月12日(日)】 ※歌麿が描いた世界を再現
(2)各種団体による歌麿関連イベント
(3)歌麿夢芝居 11月26日(日)
※「歌麿道中」「歌麿夢芝居」とも一般の方々から出演者を募集し実施。(一部プロのサポート出演あり)
②栃木市立美術館による高精細複製画ならびに肉筆画の展示
③栃木と歌麿の関連を学ぶための講演会・勉強会
※栃木市立美術館館長による、歌麿に関する講演会を予定(時期・内容は未定)

【令和6年度以降】
①歌麿まつり(「歌麿道中」や協議会構成団体による関連イベント、歌麿に関する大規模イベント公演等)の開催
②栃木市立美術館による高精細複製画ならびに肉筆画の展示
③栃木と歌麿の関連を学ぶための講演会・勉強会
④その他事業の拡大や新規事業(創作オペラ「歌麿の恋」)

【広報関係】
歌麿まつりに関して、県内ならびに宇都宮から浅草までの東武鉄道沿線の地域へのPRを重視し、市ホームページや協議会ホームページ、ケーブルテレビによる情報提供や県内各市町へのポスター・チラシ送付をはじめ、東武鉄道沿線各駅へのポスター掲示を行う。歌麿道中での出演者募集の範囲を県内限定から全国へと拡大し、栃木と歌麿の関係を全国各地に周知できるように取り組みを行う。

事業に係る市町総合戦略の目標及び KPI

【基本方針】地域資源を活かした賑わいと活力のある栃木市
【基本施策】観光の振興
【KPI】年間観光客入込数:令和9年度に年間650万人(平成30年度現状値:年間600万人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	5年度	6年度	7年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①栃木県誕生150周年記念歌麿まつり(「歌麿道中」・「歌麿夢芝居」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ③歌麿と栃木の関連を学ぶための講演会・勉強会	①歌麿まつり(「歌麿オペラ」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ③歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ④その他、事業の拡大や新規事業の開拓	①歌麿まつり(「歌麿道中」・協議会構成団体による関連イベント)の開催(ふるさとまつりと同時開催) ②栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ③歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ④その他、事業の拡大や新規事業の開拓		①歌麿まつり(「歌麿道中」・協議会構成団体による関連イベント)の開催 ②栃木市立美術館における高精細複製画ならびに肉筆画の展示 ③歌麿と栃木の関連を周知させるための講演会・勉強会 ④その他、事業の拡大や新規事業の開拓
事業費	3,348,000	4,000,000	4,000,000	11,348,000	3,500,000
市町支出金(ソフト事業分)	900,000	1,800,000	1,800,000	4,500,000	900,000
うち県交付金	450,000	900,000	900,000	2,250,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	2,448,000	2,200,000	2,200,000	6,848,000	2,600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	地域振興部蔵の街課蔵の街推進係
担当者名	中新井
電話	0282-21-2573
連絡先 FAX	0282-21-2685
E-mail	kuranomachi@city.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	栃木市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歌麿を活かしたまちづくり事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
栃木市補助金	900,000	栃木市
協賛金	1,645,000	企業・各種団体等からの協賛金 100,000円×4社(団体)=400,000円、50,000円×4社(団体)=200,000円、20,000円×25社(団体)=500,000円、10,000円×30社(団体)=300,000円、5,000円×49社(団体)=245,000円
繰越金	753,941	繰越金(協議会前年度残金)
会費	49,000	協議会会費 3,000円×15団体=45,000円、1,000円×4人=4,000円
雑入	59	利息等
計	3,348,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	940,000	300,000	150,000	640,000	関連イベント実施謝礼 300,000円 歌麿道中協力者謝礼 200,000円 協賛記念品 200,000円 講師謝礼 100,000円 歌麿道中参加者記念品 50,000円 歌麿道中船乗り込み委託料 30,000円 歌麿道中人力車委託料 30,000円 歌麿道中演出委託料 30,000円
旅費	10,000	0	0	10,000	有識者旅費
消耗品費	60,000	0	0	60,000	消耗品費
食糧費	100,000	0	0	100,000	歌麿道中出演者弁当代 50,000円 有識者弁当代 40,000円 歌麿道中出演者飲物代 10,000円
印刷製本費	170,000	150,000	75,000	20,000	歌麿まつりポスター印刷代 70,000円 歌麿まつりチラシ印刷代 50,000円 歌麿まつり班内回覧用チラシ印刷代 25,000円 講演会チラシ印刷代 25,000円
修繕料	20,000	0	0	20,000	看板修繕料
通信運搬費	20,000	0	0	20,000	通知等発送代
手数料	5,000	0	0	5,000	ポスター発送手数料 3,000円 振込手数料 2,000円
委託料	900,000	450,000	225,000	450,000	歌麿道中衣装指導委託料 800,000円 協議会ホームページ管理委託料 100,000円
使用料及び賃借料	20,000	0	0	20,000	講演会施設使用料 10,000円 打合せ会場使用料 10,000円
備品購入費	103,000	0	0	103,000	備品購入費
負担金、補助及び交付金	1,000,000	0	0	1,000,000	歌麿夢芝居出展負担金
計	3,348,000	900,000	450,000	2,448,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合